

赤ちゃんの駅整備事業

Q 整備状況について。
A **こども支援課長** 市内に一般事業所を含め49か所となっている。昨年度は、公共施設21か所のうち16か所で、おむつ交換台、授乳用いす、ベビーベッドなどを整備した。



赤ちゃんの駅 (市役所1階)

生活保護費

Q 若年の受給者の状況について。
A **社会福祉課長** 22年度に受給開始となった96世帯のうち、50歳代以下の世帯が63世帯である。

商工団体運営費補助金

Q 補助金の内容について。
A **産業振興課長** 商工会の運営費のほか、商店会の年末大売出しなどのイベントに関する経費、商店街の街路灯の電気代などに対して補助をしている。

公園みどり管理事業

Q せん定した枝葉のチップ化について。
A **都市計画課長** 学校、公園、街路の樹木の枝葉を市内の造園業者に依頼してチップ化している。

チップ化後は、学校等に敷きながらしてクッション代わりにしている。

小学校算数学力向上事業

Q 子どもたちの算数に対する思いの変化について。
A **学校教育課長** 学校によって取り組み方法は異なるが、支援員を2人配置し、個人に応じた指導ができた。

アンケートでは、「楽しく取り組めた」、「苦手なところがわかるようになった」、「復習が次の勉強につながった」などの結果が出た。

教育相談事業

Q 不登校の状況について。
A **教育センター所長** 年間30日

以上の不登校児童生徒数を調査すると、22年度は21年度より減少している。中学校の不登校生徒の在籍率は、埼玉県2・69割、本市2・53割であり、埼玉県の在籍率より低い。

特別会計

国民健康保険

Q 医療費抑制のための対策は。
A **保険年金課長** 被保険者の資格管理の適正化、レセプト点検による診療報酬の適正化とジェネリック医薬品の利用促進のPRをしている。

老人保健

老人保健制度は、後期高齢者医療制度への移行により、22年度で終了しました。

後期高齢者医療

Q 被保険者の伸びは。
A **保険年金課長** 被保険者数は、約7割増の伸びを示している。



介護保険

Q 地域包括支援センターの22年度の相談件数は。
A **高齢者福祉課長** 1191件で、月平均100件と年々多くなっている。

一本松土地区画整理事業

Q 今後の事業展開は。
A **区画整理課長** 23年度においては建物移転等の調査、仮設道路工事、下水道工事、舗装工事などはすべて当初予定通り順調に進んでいる。

Q 事業が縮小された影響は。
A **区画整理課長** 事業が縮小されたことによる意見要望等は特にない。換地計画の調整が若干残っているが、誠意ある交渉で解決を図っていく。

若葉駅西口土地区画整理事業

Q 事業の進捗状況は。
A **区画整理課長** 仮換地指定率は81・1割、建物移転率は43・5割、事業全体は71・3割である。

23年度以降の事業費は20億円程度を見込んでいる。

Q 共栄一本松線の進捗状況は。
A **区画整理課長** 区画整理地内においては未整備の区画が220区画ある。2件ある建物移転についても契約は終了しているため、年度内に建物移転は完了する。



特別会計決算	
◇国民健康保険	
歳入	65億8827万円
歳出	61億 390万円
◇老人保健	
歳入	869万円
歳出	469万円
◇後期高齢者医療	
歳入	3億5992万円
歳出	3億5801万円
◇介護保険	
歳入	24億6243万円
歳出	22億8980万円
◇一本松土地区画整理事業	
歳入	3億3088万円
歳出	3億1563万円
◇若葉駅西口土地区画整理事業	
歳入	4億6075万円
歳出	4億 753万円